



夏季休暇期間中における高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の徹底について

- 昨年10月の入国制限撤廃以降、訪日外客数が増加していることに加え、これから夏季休暇期間を迎えることから、日本人観光客の海外との往来が多くなることが想定されます。
- 人の流れが活発になる時期であるため、畜産関係者の皆様には、次の4点について再度確認していただくとともに、飼養衛生管理基準の遵守と、防疫対策の徹底を引き続きお願いします。



- 1 **海外渡航の自粛・輸入が禁止されている肉製品の持込み防止**
- 2 **手指の消毒や専用長靴の着用など、衛生管理区域への病原体の持ち込み防止対策**
- 3 **適切な防鳥ネット等の設置及び点検などの野生動物の侵入防止対策**
- 4 **家畜の健康観察及びアフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱の特定症状の早期発見・早期通報の徹底**

高病原性鳥インフルエンザを疑う症状が見られたら 速やかに家畜保健衛生所へ！

HPAI（高病原性鳥インフルエンザ）を疑う症状

- ・ 急激に死亡する鶏の数が増えた
- ・ 過去3週間の死亡率と比べて、死亡率が2倍以上になった
- ・ 5羽以上まとまって死亡している
- ・ まとまって嗜眠・沈うつ状態になっている（写真1・2）
- ・ 皮下出血がある（写真3）
- ・ トサカや肉垂が暗青色に変化した（写真4）
- ・ 急激に産卵率が低下した



写真1. 感染し、元気をなくした鶏（真瀬昌司原画）



写真3. 脚部の皮下出血（真瀬昌司・谷村信彦原画）



写真2. 突然の沈うつ、すぐ死亡（山口県提供）



写真4. 宮崎株実験鳥 肉垂のチアノーゼが見られる
（動物衛生研究所提供）

上記の症状を見つけた場合、
直ちに当所へ連絡してください。

青森家畜保健衛生所

電話：017-764-1744

夜間・休日：090-2274-0474